

令和 8 年 3 月 25 日

東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

環境試料(キャベツ及び大根)の採取地点の変更について(案)

令和 7 年度まで核種分析用の農産物(キャベツ及び大根)を購入していた刈羽村勝山の生産者から、令和 8 年度以降の試料提供の辞退の申し出があった。代替りの生産者を探したところ、同地区においてキャベツ及び大根を提供可能である生産者を確認できたため、令和 8 年度以降は当該地区へ採取地点を変更する。

表 1 に参考として、新たな地点と現在の調査地点の土壌の核種分析結果を比較して示す。

なお、新たな地点は、畑周辺の未耕地で、現状は草が生い茂っているが、令和 8 年度に生産者が畑として耕し、キャベツと大根を栽培する予定である。

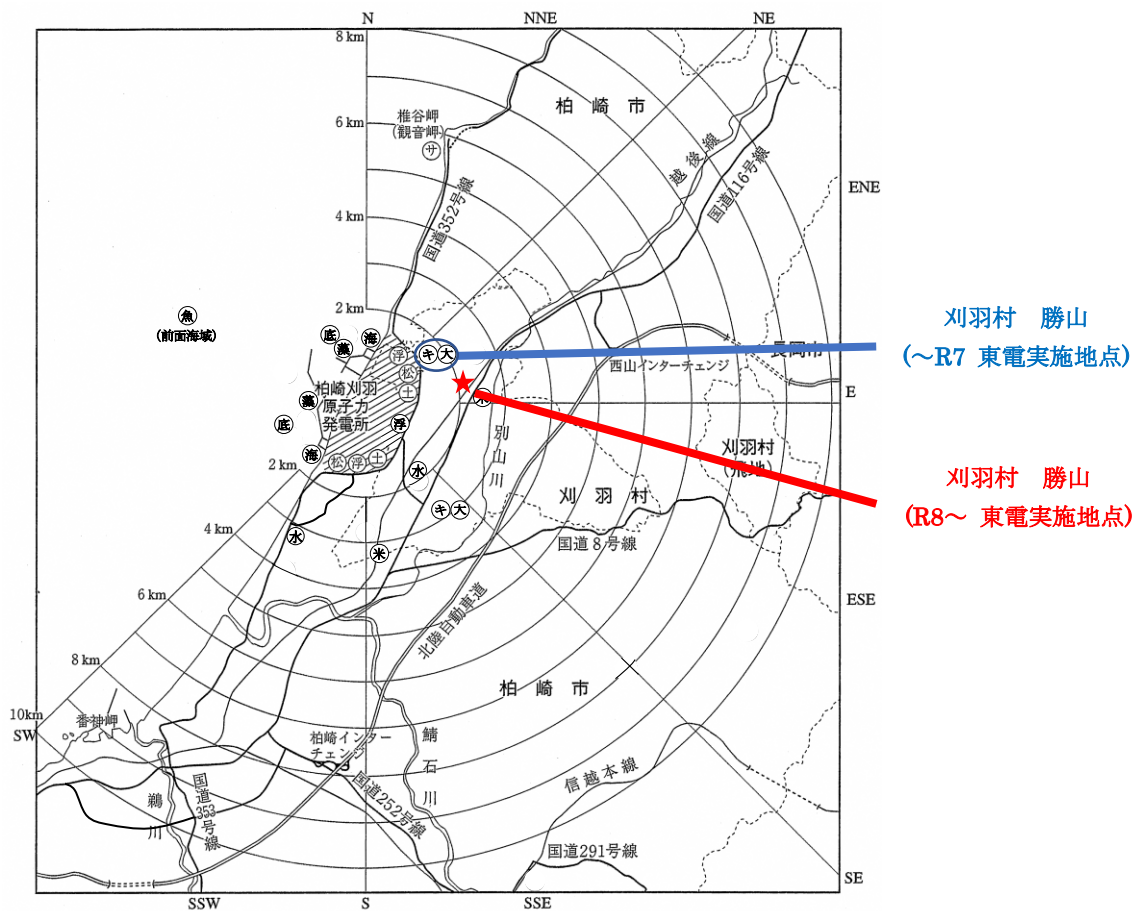


図 1 キャベツ及び大根の採取地点

表1 採取地点土壌の核種分析結果（機器分析）

採取地点	採取年月日	Cs-137 (Bq/kg 乾)	(参考) K-40 (Bq/kg 乾)
刈羽村勝山 (～R7 キャベツ・大根畑)	R7.12.2	6.2 ± 0.2	380 ± 10
刈羽村勝山 (R8～ キャベツ・大根畑予定地 (未耕地) ^{注3})	R7.12.2	* (検出下限値：0.49)	420 ± 10

- (注) 1 *は検出下限値未満を示す。
 2 放射能濃度の有効数字は2桁である。
 3 現状の未耕地の土壌を採取した。
 4 Cs-137 以外の人工放射性核種は検出されなかった(新たな地点の試料は全ての人工放射性核種が検出されなかった)。

以 上